【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【公開番号】特開2002-12364(P2002-12364A)
【公開日】平成14年1月15日(2002.1.15)
【出願番号】特願2000-196454(P2000-196454)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｈ　37/06
　Ｂ４２Ｂ　 4/00
　Ｂ４２Ｃ　19/00
　Ｂ６５Ｈ　37/04
　Ｂ６５Ｈ　45/18
　Ｇ０３Ｇ　21/00
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｈ　37/06
　Ｂ４２Ｂ　 4/00
　Ｂ４２Ｃ　19/00
　Ｂ６５Ｈ　37/04　　Ｄ
　Ｂ６５Ｈ　45/18
　Ｇ０３Ｇ　21/00　３７０

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月14日(2004.1.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成装置本体から排出された用紙の用紙搬送方向中央部を綴じ合わせる中綴じ手段と、前記用紙の用紙搬送方向中央部を中折り処理する中折り手段とを有する用紙後処理装置を備えた画像形成装置において、
前記用紙搬送方向の中心位置の基準折り線を記録したテストチャートを記憶する記憶手段と、前記中綴じ処理された用紙の停止位置を調整可能にする停止位置調整手段と、を有し、
前記画像形成装置本体により、前記記憶手段に記憶された前記テストチャートを印字し、前記停止位置に停止された印字後の用紙を前記中折り手段により中折り処理することを特徴とする用紙後処理装置を備えた画像形成装置。
【請求項２】
前記テストチャートは、用紙搬送方向の中心位置に形成した基準折り線と、前記基準折り線の近傍に等間隔に形成したスケール線とを有することを特徴とする請求項１に記載の用紙後処理装置を備えた画像形成装置。
【請求項３】
前記中折り位置を調整可能にする調整手段は、用紙の進行方向先端部を当接して停止させ、用紙の位置決めを行う移動調整可能な先端部ストッパであることを特徴とする請求項１に記載の用紙後処理装置を備えた画像形成装置。
【請求項４】
画像形成装置本体から排出された用紙を中綴じ処理、中折り処理して作製される冊子の小

口を断裁手段により断裁して冊子を仕上げる用紙後処理装置を備えた画像形成装置において、
前記断裁手段による小口断裁位置を調整可能にする調整手段と、前記用紙搬送方向の両端部位置近傍に断裁位置調整用の端部スケール線を記録したテストチャートを記憶する記憶手段と、を有し、
前記画像形成装置本体により前記記憶手段に記憶された前記テストチャートを印字して、前記調整手段により位置決めされた印字後の用紙の小口を断裁処理することを特徴とする用紙後処理装置を備えた画像形成装置。
【請求項５】
前記断裁位置を調整可能にする調整手段は、中折り処理された用紙の進行方向先端部に当接して停止させ、用紙の位置決めを行う移動調整可能な先端部ストッパであることを特徴とする請求項４に記載の用紙後処理装置を備えた画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１００
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１００】
（１）　本発明の用紙後処理装置を備えた画像形成装置は、用紙中央の基準折り線とスケール線とが記録されているテストチャートを、画像形成装置本体の記憶手段に読み出し可能に備えることにより、中折り処理における中折り位置の調整を容易かつ正確に実施可能である。即ち、調整に不慣れなユーザでも、調整不良を繰り返す事なく、最小の処理時間で正確に実施可能である。また、テストチャートは画像データとして画像形成装置に記憶しているため、専用のテストチャートを持ち歩くことなく、中折り処理における中折り位置の調整が速やかに実施可能である（請求項１～３）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０１】
（２）　本発明の用紙後処理装置を備えた画像形成装置は、用紙の両端部位置近傍に端部スケール線が記録されているテストチャートを、画像形成装置本体の記憶手段に読み出し可能に備えることにより、断裁位置を容易かつ正確に調整可能である。また、テストチャートは画像データとして画像形成装置に記憶しているため、専用のテストチャートを持ち歩くことなく、断裁位置を容易かつ正確に調整可能である（請求項４，５）。